

審 議 結 果

会 議 名	第 3 回川口市協働推進委員会
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 1 5 日（水） 1 4 時から
開 催 場 所	川口市立かわぐち市民パートナーステーション 第 2 ・ 3 会議室
出 席 者 (会長に◎、副会長に ○)	◎中本委員長、○山中副委員長、梶原委員、長谷川委員 峯口委員、布施委員、下重委員、釘村委員、鈴木委員、 竹内委員 協働推進課：竹内課長、下田係長、加藤主任、高木主任、 早船主事
議 題	1 開 会 2 議 事 (1) 協働の周知に係る職員研修について (2) その他 3 閉 会
公開／非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由	—
傍 聴 人 の 数	0 名

会 議 資 料	資 料 1 川口市協働推進委員会委員名簿（令和 8 年 4 月） 資 料 2 職員研修概要（案） 資 料 3 職員研修（案） 資 料 4 研修アンケート（案）
審 議 経 過	別紙のとおり
そ の 他	—

審 議 経 過

1 開会

○議長

規定により議長を務める。委員の慎重かつ積極的な審議とスムーズな議事進行への協力をお願いする。

- ・ 議長が会議録署名人を確認した。
- ・ 議長が事務局に会議の傍聴希望者がいないことを確認した。

2 議事（１）協働の周知に係る職員研修について

○議長

では、ここで「次第２ 議事（１）協働の周知に係る職員研修について」事務局に説明を求める。

○事務局

それでは、資料２を確認していただきたい。

前回の委員会で委員の皆さまから頂戴した意見を踏まえ、研修目的について修正させていただいた。前回は「協働を理解すること」としていたが、「長期的な視点で、どのような状態が理想かを段階的に示した方がよい」との指摘を受け、スライド２のとおり目的を整理し直した。今回の研修は「協働を知ること」を主眼とした基礎研修と位置付け、今後は、応用・発展編として、実際に協働を進めるための具体的な手段や進め方を学べる研修へと段階的に展開していく予定である。

次に、資料内の記載の具体化についてである。９ページ「協働の目的」では、例えば従来の「少子高齢化」という表現を、「子育て支援不足」「高齢者の孤立・介護問題」など、より具体的な課題が想起できる内容に修正した。

また、29ページ、30ページの「市民団体との協働事例」についても、追記・整理を行った。事例①・②は、協働に至った背景や期待される効果を補足し、事例③は、実施した事業が協働の形態としてどの類型に当たるのかを例示した。これにより、職員が所属部署で実施している事業についても「協働に該当する可能性がある」と認識するきっかけとなることを意図している。

以上を踏まえ、修正後の職員研修（案）について、実際の内容を確認していただきたい。資料3および前方プロジェクターを見ていただきたい。

（以下、研修動画視聴）

ご清聴いただき感謝する。

○議長

動画に関しては、かなり力作であると感じた。それでは、資料2、3について通して意見や質問はあるか。

○委員

議長の言う通り、かなりの力作であると感じた。ただし、伝えることが目的であるならば、もう少し、30分間の視聴に耐えられる面白さのエッセンスを入れるなど工夫をしてもよいのではないか。

○委員

説明が丁寧すぎる。時間はちょうどよいと感じる。

○事務局

同じ画面が続くと視聴者の耳に入らなくなるのではないか、ということか。

○委員

記載されている文字が多いように感じるが、一方で文字がないと後で見返した時によくわからなくなると考える。

○議長

全ての人が文字を読めるとは限らない。両面があると思う。

○委員

具体的な案だが、アニメーションをもっと取り入れる、クイズ等視聴者に考えるポイントを出す工夫があるとよい。また、色味が単調であり、もう少し工夫してみてはどうか。

○委員

行政がどこまで対応できるかは分からないが、無料の ChatGPT や CloudCode、Slide 等のアカウントを用意し、例えば、何でもよいので「私はこのアニメが好き」と Slide に入力すれば、作成に 5 分もかからないと考える。セキュリティのリスクもないと考える。デザインが違うだけで、1 人でも 2 人でも職員が見てみようか、となるのではないか。

○委員

市民と市が協力するという事だが、今回の職員研修とは職員個人を対象としているのか、それとも担当部署を対象としているのか。

○事務局

今回は基礎研修であるため、基本的には職員個人の理解度を高めることを目的としている。その後、応用発展へと進む中で、アンケートのフィードバックを踏まえ、具体的にアプローチできる部署を巻き込んでいきたいと考えている。

○事務局

先ほど ChatGPT の話があったが、現時点においては、川口市としては生成に制限があることを説明させていただく。スライドには動きがある、色が変わるなど視聴者の目を覚ますような工夫を検討する。

○委員

視聴開始時から違和感があったのだが、BGMはないのか。

○事務局

BGMについては、例えば複数人で視聴した場合などに音楽が他の業務を阻害する可能性があったため、あえてつけなかった。先ほどから意見をいただいているように、スライドの単調さを修正することが優先であると考えている。

○委員

5 ページの協働に関する調査結果より、協働を理解していない職員が少なくない。今回は基礎編ではあるが、難しい内容もあるため、さらに簡単にしたものがあったてもよいのではないか。

○事務局

ご提案感謝する。例えば、このような研修を実施するという2分程度の動画を先行して配信し、職員の興味を引いた上で、10月の研修に参加するという方法を検討する。

○委員

前回の調査対象について、職員4,755名、回答数が1,383名とあったが男女比は分かるか。

○事務局

前回の調査について、性別の回答欄はなかった。最近のジェンダー問題もあり、もし入れるとすれば第3の選択肢を入れるなど配慮が必要であると考えている。ただし、この研修に関しては、性別による分析が必要であるか明確ではないため、難しいものとする。

○議長

スライドの３３ページ、課題を希望する部分についてだが、ここが重要である。この研修を視聴するにあたって、この部分を意識して研修を受けると理解度が変わると考える。何かの形で、例えば資料になかったとしても研修資料として配布し、研修を受ける際に念頭に置くと効果があるように感じる。

○事務局

この３３ページは今回の委員会直前に追加した部分である。ここで視聴者に各課の課題を考えていただくことにより、その後のアンケートで回答を得たいものである。その回答の中に前向きな所があれば、次の研修に向け、その部署に話を伺うなどができると考えている。

○議長

他に意見がなければ、次の資料に進むものとする。事務局より説明をおねがいする。

○事務局

それでは、次に資料４「職員アンケート（案）」について説明する。

このアンケートは、研修が「協働推進条例で定義する協働」の理解促進にどの程度つながったかを把握し、今後の施策および研修設計に反映することを目的として設問を構成している。問１・問２は、所属部署や年代による理解度・課題の傾向を分析し、対象に応じた周知方法や研修内容の調整に活用するための設問である。問３－１・問３－２は、研修前の認知度と受講後の理解到達度を明確に区別し、説明方法や教材の改善点を具体化するために設けている。問４・問５は、現場での協働の実践状況と、パートナーステーションの活用状況を把握し、マッチングや登録促進の方策検討につなげることを狙いとしている。問６は、相談ニーズを収集し、具体的な支援メニューや伴走支援の優先順位整理に役立てるよう設定している。説明は以上である。

○議長

今の説明に対し、意見、質問を頂戴したい。

○委員

本題とずれるが、自身の町会に自身が知る限り 2 名、市の職員が町会役員として活動してくれている。仕事に支障のないように協力してくれていると考えるが、大変ありがたいことであると感じている。市役所の方で推奨しているのか。

○事務局

市民生活部の中に自治振興課があり、町会や自治会を担当している。係長以上については、各町会自治会の相談役を担うことになっている。それ以下の職員については、自主的にしているものであると考える。

○委員

相談員がいることは自身も把握している。それとは別に参加しているということであれば、それこそが協働であると感じる。

○議長

大変貴重な意見であった。他に意見はあるか。

○委員

今回の研修の目的が「知ること」であるなら、問 3－3 に「協働を知らない人にどうやって知らせたらよいか」と入れてはどうか。

○事務局

ご指摘感謝する。そうした設問を検討させていただく。

○委員

今回のアンケートは研修後のアンケートであるとのことだが、問３－１の設問は本当に必要かと感じる。前回のアンケートの回答率が低かったが、それに対し回答率を上げる工夫はあるのか。特に今回は動画を視聴する必要があるため、前回と同じことをしても同じ回答率か、あるいはもっと低くなってしまっているのではないか。

○事務局

前回令和５年の調査については、ネット上での回答をいただいた。今回はイントラネットで全体に回答を依頼する通知があり、期日までに回答を依頼するというものであったため、イントラネットを確認して実施する人もいれば確認もしていない人もいるという状況であったと考えている。今回は回答率の低い部署にリマインドメールを送るなど検討している。なお、職員個人を確認する間は設けていないため、誰が回答していないかまでは把握できないが、できる限りのことを実施する予定である。

○委員

そもそも前回の研修内容は同じだったのか。

○事務局

研修は今回が初めてであり、前回はいくまでも市職員の研修に関する理解度を確認する調査であった。

○委員

前回の回答率が低かった点について、これは義務ではなかったのか。

○議長

大学では、例えば倫理関係の研修などは受講しないと成績に関わってくるも

のである。しかしながら、今回の研修は最初に協働という概念の文化を育てていくことが重要であると考えている。そういう意味では、職員番号を書かせるよりも、嫌がられるくらいのリマインドメールを送るくらいは実施してもよいのかもしれない。

○事務局

市職員でも、情報セキュリティなど、職員が必須、義務である研修はいくつかあるが、全ての課所が希望する研修を必須にしまうと1年中研修を受けることになる。義務とまでは言わずとも、前回の調査に比べて1段階踏み込んだ様々な工夫が必要であることは考えている。例えば、各課所長に部下に参加を促していただくなどの工夫は実施していく。

○委員

2つほど意見がある。1つはスライドに関して、文字が多すぎではないかと意見があったが、音を消して倍速で視聴する人もいることを想定すると30分ではなく、もっと短時間で視聴できるのではないかと考える。もう1つ、アンケートについて、この研修を踏まえての問いかけとすれば、問3-1、3-2について「協働について理解できたか」と問うものでよいかと考える。また、問4、問5についてはいささか唐突であるように感じた。「協働のイメージができたか」等にすれば、質問の数が減り、回答がしやすくなるのではないかと考える。

○委員

同意見である。問4から急にハードルが上がるように感じた。

○事務局

ご指摘を踏まえ、修正させていただく。

○委員

研修の件は市長も存じているのだから、市長から職員に受講をするよう指示していただけないのか。

○委員

市には部長会議というものがある。その場で協働推進課よりこうしたアンケートがあるという事をアナウンスすれば、部長が各課長に周知する。その上で各部長、課長に回答を依頼するというのが流れとしてはよいかと考える。

○事務局

ご意見のとおりである。必ず部長会議でオーダーを入れさせていただく。

○議長

それでは、議題に対する質疑は以上とする。

2 議事（2）その他

○議長

では、「次第2 議事（2）その他」事務局に説明を求める。

○事務局

本日の意見を踏まえ、修正した動画等をご確認いただいた後、研修を実施する。研修終了後に結果のフィードバックを行い、今後の方向性を検討する予定である。次回は年明け1月～3月頃の開催を予定している。開催にあたり、事務局より事前に委員会開催のお知らせを送付するため、よろしくお願いします。説明は以上である。

○議長

説明内容について、意見はあるか。

○委員

今回のアンケートについて、目標を定めてはどうか。アンケートの回答率が何%ぐらいか、回答数何名かについては今回質問できなかったが、目標を定めてはいかがか。

○事務局

ご指摘感謝する。確かに実施する以上、目標を定めるべきであるとは感じる。今回動画を作成している為、アンケート回答率50%、協働を理解した人が50%というところから始めたいと考える。

○委員

動画を視聴する為参加率という点で伸び悩むかもしれないとは感じる。

○議長

他に、意見はあるか。

(委員の意見、質疑なし)

○議長

以上で、本日の議題はすべて終了したため、議長の職を解かせていただく。
長時間にわたり、ご審議いただき感謝する。

3 閉会（15時10分）

会議の内容については、以上のとおりです。

令和8年7月15日

川口市協働推進委員会委員長

中本 進一

川口市協働推進委員会委員

峯口 文治
